

三次市社会福祉協議会

ふれあい出前講座

ふれあい出前講座とは

福祉のこと、介護に関することをもっと知りたい、社会福祉協議会の仕事についてきいてみたいと思われたことはありませんか？市民のみなさんからの要望に応じて社会福祉協議会職員が専門的な知識を活かし、福祉や介護についてお話させていただく講座です。みなさんの会合やふれあいサロン、学校、会社、地域団体などへ出向いてお話しします。



対象

三次市にお住まいの方を主とするおおむね5人以上のグループや団体です。

場所時間

平日9時～16時の間で、1回当たり概ね60分です。開催場所は市内とします。

申込み

開催希望日の3週間前までに、三次市社協本所、支所、施設にある申込書に必要事項を記入の上、提出してください。電話やFAXまたは、メールでの申し込みも可能です。申込書はホームページからダウンロードもできます。

その他

- ・会場の確保や講座の準備および進行等は申込者の責任において行ってください。
- ・講師派遣料は無料です。ただし会場の使用料など出前講座に要する費用は申込者の負担とします。
- ・講座の時間の短縮・延長については相談に応じます。
- ・政治、宗教または営利を目的とした催しは除きます。

お問合せ・申込み

三次市社会福祉協議会 地域福祉課
電話 (0824) 63-3340 FAX (0824) 62-6827
E-mail: Mycity3@ca.wakwak.com



- | | |
|--------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| ・君田支所 電話(0824)53-2964 FAX (0824) 53-7002 | ・三良坂支所 電話(0824)44-2182 FAX (0824) 44-7005 |
| ・布野支所 電話(0824)54-2042 FAX (0824) 54-2883 | ・三和支所 電話(0824)52-3143 FAX (0824) 52-7009 |
| ・作木支所 電話(0824)55-2119 FAX (0824) 55-7002 | ・甲奴支所 電話(0847)67-2075 FAX (0847) 67-2195 |
| ・吉舎支所 電話(0824)43-3301 FAX (0824) 43-7005 | ・江水園 電話(0824)55-3388 FAX (0824) 55-7066 |
| ・三次西健康づくりセンター 電話(0824)65-0321 FAX (0824) 65-0362 | |

出前講座メニュー一覽



令和6年6月1日

No.	講座名	内容
1	始める、始まるボランティア！	ボランティア活動を始める前の心構えや活動中の注意点、そして身近なところで行なわれているボランティア活動の紹介をします。
2	知ってて安心！ 「福祉サービス利用援助事業」と 「成年後見制度」の活用術	認知症や障害のある方が地域で安心して生活できるよう支援する制度を説明します。 日常的な金銭管理や、身の回りのこと、財産のことが1人で適切に決めることが難しくなった場合に知っておくと役立つ情報です。
3	“地域”だからできる 福祉活動を知ろう	少子高齢化・人口減少が進む三次市では、公的な制度やサービスだけでなく、地域の福祉活動の重要性が大きくなっています。 サロン活動をはじめ、いまある地域のつながりから自分たちの暮らす地域について考えてみませんか？
4	やってみよう 体験・体感の「福祉学習」	車椅子などの福祉用具を体験することで、福祉の基礎となる思いやりややさしさを感じてもらいます。
5	高齢者の生活を支える “介護”のお話 ～介護の制度とサービスについて～	自分や家族に“介護”が必要になったとき、どこに相談すればいいのか、相談窓口や制度、サービスについてわかりやすく説明します。
6	イキイキ元気！ 今日から始める介護予防	いつまでもイキイキと自分らしく暮らしていくために、今からできることをわかりやすく紹介します。 日常生活の中でできる予防方法を学んで、自宅や地域のサロン活動などで取り組みをはじめてみませんか。
7	みんなで知ろう認知症 ～認知症は地域で支える病気です～	認知症は本人、家族、その人が暮らす地域が病気を正しく知ることで、予防・症状の緩和に効果のある病気です。 みんなで認知症を学ぶことで、いつまでも安心して暮らしていける準備をすすめませんか。
8	地域で共にくらすために ～障がいを理解する～	“障害”があってもなくても、みんなが暮らしやすい地域になるように理解を深める話をきいてみませんか。
9	これから手帳 ～想いを書き留めてみませんか？～	高齢期を迎えても「自分らしく暮らし続ける」ために、“これから手帳”を活用し、今の生活とこれからの暮らしについて考えます。

※メニューによっては、内容を変更または廃止する場合があります